

学位被授与者氏名	井上 云琳 (いのうえ ゆうり)
論文題目	漢日語不定量表現研究 (中日両言語に於ける不定量表現についての研究)
論文審査結果の要旨	<p>中国語の名詞に数の文法範疇がないゆえに語及び語と語の組み合わせによる数量表現は極めて重要である。本論は先行研究においてそれほど重視されていない不定量表現を研究対象にし、全面的な分類と考察を行った上、中日対照比較を行い、修論として研究課題の選択と研究対象の決定は評価できると思われる。第三章の「集合不定量」における「線状」「円状」「串状」「束状」「壘状」などの独自の分類、第六章の中日同形の「前後」「上下」「左右」の異同と中日用法の異同の詳しい考察は、中日両言語の教育と習得に役立てる参考資料になる。第五六章の認知言語学的手法による不定量級の区分と円グラフの運用などは有効な研究方法として認められる。しかし、事実の羅列が多く、分析は足りない部分があり、結論を各章に分散し、全体のまとめは十分とは言えない。</p> <p>本論はA4用紙の103ページに及んで、分量と論文全体の構成、分析方法、術語の使用、認知図表の設計などは概ね適当である。</p> <p>平成29年2月10日に、北九州市立大学北方キャンパス3号館320教室において、審査委員全員出席のもとで最終試験を実施して学力を確認し、論文の説明を受け、質疑応答ののちに、全員一致で当該論文が修士(中国言語文化)として十分な内容であると判定した。</p>